

ようじえんだより 2016年度4月号

十日町幼稚園 〒948-0083 十日町市本町西1丁目

Tel:025-752-2068 Fax:025-752-2189

4月主題『安心して』

主題聖句：安心して下さい。わたしだ。恐れることはない。

マタイ14章27節

☆ 0～2歳児：新しい環境や保育者に出会い、親しみを感じる。一人ひとりが安心して過ごす。保育者に守られて好きな遊びを見つける。

☆ 3～5歳児：保育者に受け入れられていると感じ、安心して過ごす。気に入った場所や遊具が見つかる。保育者と保護者が信頼関係を築く。

はじめまして。今年度4月1日より十日町幼稚園の園長に就任しました久保田愛策（くぼたあいさく）を申します。出身は広島県広島市で、学生時代を関西で過ごし、茨城県鹿嶋市にある鹿島教会・鹿島幼稚園で15年間過ごして、十日町にやってきました。関東平野の東端にある鹿嶋市は高い山がない分、空が広く、地平線に沈んでいく夕陽が美しかったです。十日町は山が多く、緑豊かな町だと思いましたが、まだ十日町の美しさや豊かさに気づく余裕がありません。初めて住む場所であり、牧師や園長経験はありますが、それぞれの教会や園によって運営の在り方はずいぶん違うものですから、とりあえず仕事を覚えることだけで必死、というのが正直な感想です。

そんな中で、今月の聖書の言葉はまるで自分に語られているように感じます。新しいことに直面する時、人はなかなかワクワクできないものです。むしろ恐れや緊張にとられる人の方が多いでしょう。それは大人だけではなく、子どもも同じだと思います。新入園の子どもたちの多くが初めて出会う「社会」が十日町幼稚園です。初めての園生活は、おうちの方と離れる寂しさと不安で、子どもたちには多少なりとも

ストレスがかかり、泣きっぽくなります。小学校入学時にも「赤ちゃん返り」という退行現象が見られますが、これも基本的には新しい生活に入る子どもたちが直面する最初の壁です。親としても愛するわが子が泣きながら登園することは切ないことですが、この壁は必ず越えることができます。そのことを信じて以下の点にご注意いただければと思います。子どもが新しい環境に慣れるために、“励ましの言葉”を多くかけていただきたいのです。「もうお兄ちゃん、お姉ちゃんでしょ」「いつまで泣いてるの!」という類の声掛けは、多くの場合かえってプレッシャーになります。「大丈夫だよ」「お友だちといっばい遊べるよ」などの子どもの背中を後押しするようなお声掛けをお願いいたします。

とは言っても、子どもたちだけでなく、保護者の方々も不安やわからないことが多くあると思います。そんな時は一人で悩まず、どんな小さなことでも十日町幼稚園の先生たちに相談してください。私たちも子どもたちや保護者の方が安心して生活できるように全力を尽くします。

園長：久保田愛策

年間主題『平和とともに』

主題聖句：キリストはわたしたちの平和であります

新約聖書 エフェソの信徒への手紙 2章14節